

校長室通信

平成24年度 第6号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 5. 30

1 暦は5月（皐月）から6月（水無月）へ

新しい年度を迎えて早いもので、およそ2か月が過ぎようとしています。お子様の生活のリズムや健康状態、学習状況はいかがでしょうか。学校では、いろいろな意味で疲れの出ているこの時期に合わせ、教育相談を全校で実施しました。6月になると梅雨に入ります。梅雨は、日本の農業のためには大切な気象現象ですが、寒暖の差が大きいなど私たちが生活するには大変な時期でもあります。16日には体育祭があり、6月末には各学年とも行事を控えていますので、体調を崩さないように健康管理に十分注意して生活させてください。

2 体育祭学級色分け決定

5月24日（木）に、体育祭の学級色を決める臨時生徒朝会がありました。生徒会長の軽快な司会で、1年生からクラス代表者が抽選に臨みました。右の一覧表に結果を載せておきます。学級旗の制作も放課後を活用して始まっています。応援をよろしくお祈りします。

色別	緑	青	白	黄	赤	ピンク
1年生	1組	2組	3組	5組	4組	
2年生	2組	4組	1組	6組	5組	3組
3年生	4組	5組	3組	2組	1組	

3 避難訓練を実施

今年度初めての避難訓練を実施しました。今回の目的は2つあります。

- 1つ目は、各教室からの避難経路を確認し、第1次避難場所（校庭）まで、安全に避難するという事です。
- 2つ目は、先日調査した緊急時の家庭への下校の仕方の確認です。

《講評で生徒へ話したこと、伝えたかったこと》

- ①一番大切な自分の命は、自分で守る。

最終目標として、自分の命は自分で守れるようになる。積み重ねにより、正しい判断と行動がとれるようになる。（釜石の奇跡）

- ②校舎の火災における避難経路の確認と、避難の仕方「お・か・し・も」

（集団行動は、係の指示で静かに整然とする）

- ③安全確保の習慣化

買い物に行ったお店では、駅の構内では、美術館や博物館ではなどと、普段生活しているところで必ず確認する習慣をつける。

- ④訓練を活かす、備える。

6月には1年生は宿泊学習、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行と、知らないところで生活をします。学びをしっかり活かしましょう。

4 エコライフ祭への参加・協力

地域の行事であるエコライフ祭は、7月21日（土）に実施されます。先日、役員さんのおいでになり、第二中への連携協力の要請がありました。昨年から中学校との連携のもとアルミ缶神輿を出しているとのことでした。今年度からの参加も無理の無い範囲で協力していくということになりました。

協力は、その年の企画に合わせて1年生が行う。毎年、1年生が地域の方々と触れあいを持って行くという事になりました。さっそく、5月15日、17日、18日の3日間で、今年が目玉であるアルミ缶竿燈を1年生全員で製作しました。地域の方々が1クラス当たり約10名程度毎回来てくださり、その御指導のもと生徒一人が1個のミニ提灯を創りました。昇降口に飾ってありますので、当日を楽しみにしてください。なお、当日の参加については、エコライフ祭実行委員会からの参加申込書によることとなります。



一緒に楽しく製作



自分だけのオリジナル提灯完成



竿燈の竿も一緒に製作



つり下げて竿燈の完成

5 生徒会福祉委員会 ～リサイクル・社会貢献推進事業部～

本校生徒会福祉委員会では、先日プリントでお知らせした通り、下記の物品の回収を行っています。呼びかけにより賛同される家庭と生徒達による自主回収です。いくつかの部門のデータが出ましたのでお知らせします。なお、資源やエネルギーの有効活用を目指すものですので、無理の無い範囲で協力していただくと幸いです。

回収する物品	回収結果	次回回収日
・ベルマーク	3, 276点	6/19 (火)
・アルミ缶	2, 177個	6/19 (火)
・エコキャップ	後日回収連絡	随時昇降口回収ボックスへ
・テトラパックの紙容器	後日回収連絡	随時昇降口回収箱へ
・段ボール、古新聞、散らし、雑誌、雑紙	後日通知あり	5/31 (木)
・ペットボトル (新しく追加)	1, 067個	6/28 (木)

6 道徳WEEK実施

道徳weekは、先生方の自主的研修です。心の教育の中核を成す道徳の指導技術の向上をねらい、系の発案で実施しているものです。今回は、1年4組、2年5組、3年3組で授業の提案があり、先生方が別れて参観しました。実施後の5月23日の放課後には「道徳を語る会」が開催されました。授業力の向上を願って多くの視点から話し合いがなされ理解が深まりました。この活動を通して、先生方の技能が向上し、生徒達へ良い還元ができると信じています。

7 週案から

道徳 week の授業では、本当に生徒達が活発に発言してくれました。資料も身近で思いも重なる部分があったようです。校内研修ですが、やはり準備の大切さを感じました。自分自身のためになる素晴らしい機会となりました。

道徳 week の第1回を実施、水曜日に「語る会」を行った。昨年度、関ブロ発表を機に立ち上げた道徳の時間を活性化する企画であるが、本校の先生方は協力的で忙しい中でもしっかり前向きに取り組んでくれる。そういう先生方で学校を動かしているから、落ち着いた生活が送れているのだと思う。

今週は家庭学習の習慣作りを目標にして指導をした。まずは、学習計画表の提出、家庭学習ノートの提出を呼びかけた。ノートについては、学び方が良い生徒については、積極的に全体に例示し、互いに学びあう雰囲気を高められるようにした。

教育相談を通して、多くの生徒が学校に適應できていることが感じられ一安心。その中で、やはり、学習と部活動の両立に頭を悩ませ始めているようだ。学習の仕方や時間の確保などアドバイスしていきたい。

8 金環日食

心配された天気も、北関東は晴れました。嬉しくていつもより1時間前に起き、日食が始まるのを待ちました。まず、家で右上からの日食の始まりを観察し、学校に7時に到着。刻々と欠けていく太陽を、時間をおきながら観察し、7時36分には登校している教職員・生徒が校庭で金環日食の瞬間を観察できました。今世紀最大の天体ショーを多くの生徒が家庭で見ての登校となりました。昇降口であいさつを交わしたほとんどの生徒は、嬉しそうに「見ました」と感動を伝えてくれました。

8 : 28



7 : 36



7 : 11



ちょっと嬉しい話

五月晴れ元気溢れる運動場

4月、5月の体育の授業は、集団行動や陸上競技など、運動場で行われることが多い。校長室、職員室からその光景がよく見える。隊列をしっかり守り整然と行進する姿や、陸上の各種目を選択して臨んでいる姿勢はとても凛々しく、二中生があるべき姿で育っていることを実感する。何より、最初に行う準備体操の声は同調して大きく響き渡り、感動すら覚えるくらいである。師弟同行で行われる意欲を大切に現代教育の成果でもある。

本当か嘘か確かめる話

青空をさえざるヒバリ子育て中

動物は、春一斉に子育てに入る。報道によると佐渡のトキも順調に育っている。多くの動物は、えさが豊富にある春から夏にかけて子育てを終えなければならぬ。さて私は、子どもの頃ヒバリについてこう聞いた。ヒバリは巣から飛び立ち天に向かってさえざる。そして、巣から離れたところに降り立ち歩いて巣に戻る。それは、敵に巣のありかを知られないためだという。それで私は、麦畑の中に確かめに入ってしまった思い出がある。